



関西学院初等部

〒665-0844
兵庫県宝塚市武庫川町6-27
TEL:0797-81-5500
FAX:0797-81-5010
E-mail:shotoubu@kwansai.ac.jp

アクセス

阪急電鉄「宝塚」駅下車1,100m／阪急電鉄「宝塚南口」駅下車800m
JR「宝塚」駅下車1,200m

入試イベントスケジュール

オンライン学校説明会	4月17日(土)
オンライン個別相談会	5月中
オープンスクール*	6月中
オンライン入試説明会	6月下旬

入試関連のスケジュールは
決まり次第、こちらのページにて
お知らせいたします。

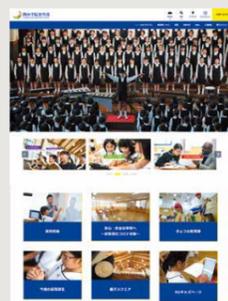
動画で詳しく!

(ご参考)
2020年度オンライン
オープンスクール

※オンラインでの開催の可能性があります。

美しい初等部の風景や
子ども達の活動の様子を
配信しています。

学校、そして児童の日常を 知っていただくために



関西学院初等部のHPでは、入試情報のほか、毎日の学校の様子を紹介する「きょうの初等部」、学校長による「校長ブログ」などさまざまなコンテンツを通して児童らの日常生活や学校の雰囲気をお届けしています。

関西学院初等部ホームページ
<http://www.kwansai.ac.jp/elementary/>



KWANSEI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL





"Mastery for Service"

社会と人のために、自らを鍛える

友達と仲良くすること。家族を大切にすること。そのために、自分にできることは何か、を深く考える。

たとえばそんなふうに、誰かを思い、自分と向き合いながら学ぶこと。

それが関西学院初等部がもっとも大切にしている想い、

“Mastery for Service” (社会と人のために、自らを鍛える) というスクール・モットーです。

創立者のウォルター・ラッセル・ランバスは、医療宣教師として生涯にわたり、

世界4大陸で伝道、教育、医療活動にあたりました。

その奉仕の精神を受け継ぎ、高い倫理観や豊かな感性、そして国際感覚を養える6年間がここにあります。

一人ひとりの個性を大切に、夢の種を見つけ、大きく育んでいきます。

キリスト教主義に基づく全人教育

「社会と人のために、自らを鍛える」。そんな世界市民を育て、世界へ送り出すために。関西学院は、一貫教育としてキリスト教主義による全人教育を建学の精神としています。心も体もたくましく成長して欲しい。そんな願いを込めて、初等部では「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」(新約聖書 ルカによる福音書 2章 40節) という聖書の言葉を大切にしています。論理的に考え、国際的な感性を備え、自立できる児童像を目指し、共に歩み、共に学びます。



初等部 聖句

幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた
新約聖書 ルカによる福音書 2章40節



多様なニーズに応える学びの場

関西学院初等部
部長
小谷 正登

1889年、原田の森(現在の神戸市灘区)にわずかに生徒19人教師5人で始まった関西学院は、現在8つのキャンパスに保育園から大学・大学院、インターナショナルスクール、野外キャンプ場などを擁する総合学園となり、国籍・年齢・性別を超えて多様な人々にそのニーズに応じた学びの場を提供しています。このような中、社会の激しい変化に対応する上で、その重要性が再認識されている初等教育を担う初等部は、日常生活を送る上で役に立つ、将来の仕事に役に立つなど、いわゆる実用的な意味に加え、わかることやできるようになること自体に喜びを感じることを、新たな次元・領域の世界を創造することをはじめとする多様な意味を備えた学びを用意しています。このような学びを通して子どもたちを、自分自身の価値を認識し、その価値観を大切にしながら他者も尊重し導いていくリーダー、そして関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”を体現する世界市民に育成する場が初等部です。



希望を大きく成長させる場

関西学院初等部
校長
大西 宏道

関西学院は、1889年(明治22年)創立の伝統ある学校です。スクールモットー「Mastery for Service(奉仕のための練達)」は建学の精神を表し、初等部では「社会と人のために自らを鍛える」と訳しています。初等部は創立14年と学院の中では歴史の浅い学校ですが、今年度いよいよ第1期生が大学を卒業し、社会へ羽ばたきます。第1期生の諸君は、初等部時代から培われてきた建学の精神を発揮し、社会と人のために活躍してくれるでしょう。社会は、今、大きな変化に合い、人々は先の見えない不安の中にいます。しかし、聖書にはこう書かれています。「わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことはありません。」(ローマの信徒への手紙5章より)。この希望の種こそが初等部の子どもたちです。子どもたち一人ひとりの持つ力を大切に育めば希望が生まれます。その希望を大きく成長させる場が関西学院初等部です。

*本パンフレットの記事には、2020年度、新型コロナウイルス感染症の流行により、未実施、または内容を変更して実施したものが含まれます。

一貫教育で、国際性・人間性豊かな 実力ある世界市民を育む

キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」である関西学院。
初等教育から大学・大学院に至るまでの一貫教育を通して、スクールモットーである
“Mastery for Service”を体現し、より良い社会をつくる人材の育成をめざしています。

関西学院の一貫教育・併設校

関西学院初等部

意志・知性・情操を育む
生きるための心と知性を学ぶ



社会と人のために自らを鍛え、将来大きく咲かせる夢の“種”を発見する6年間。キリスト教主義教育のもと「意志・知性・情操」の基礎を固めます。



関西学院中学部

キリスト教・読書・英語・体育・芸術を柱に
「感謝・祈り・練達」を理念とした全人教育

これからの時代を生きる子どもたちのために、受験勉強に縛られない、豊かな力を身に付けます。確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕する実践力を養います。



関西学院千里国際中等部 (SIS)

国際色豊かな環境で最先端の
教育活動を展開

さまざまな言語が飛び交う多文化共生という環境の中で、「知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個人」の育成を図ります。



関西学院高等部

生徒の創造性と自主性を伸ばす
大学で学ぶための学問的素地を培う

大学や社会に必要な学力を育成するカリキュラムを展開。キリスト教主義教育による人間性の陶冶。人権教育、課外活動を通して総合的な人間性を醸成します。

関西学院千里国際高等部 (SIS)

中等部で作った基礎力をベースに
進路・興味に合った授業を履修

「5つのリスペクト」という行動指針を設定。生徒自らの判断で行動する力を養います。生徒自身が科目を選ぶ独自の時間割システムで学ぶ意欲を引き出します。

関西学院大学

国際社会に貢献する「世界市民」の
一員として“Mastery for Service”を
実践する人材を育成

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題発見・解決能力、実行力を兼ね備えた、地域社会・国際社会の発



展に寄与する「世界市民」の育成に力を注いでいます。

聖和短期大学

世界の子どもを幸せにする
実践力をもつ保育者を養成

少人数による授業、アドバイザー制度などきめ細かい教育を実施。専門性と実践力を持つ保育者を育てます。





Bible 聖書・礼拝

礼拝や聖書の時間を通じて、人を思いやる気持ち、小さなことに感謝できる心を育む。

Global 国際理解

英語力を高め、コミュニケーションを楽しみながら、異なる価値観の獲得を目指す。

Universal 全員参加・理解

みんなで主体的に問題解決を図りながら、確かな学力の獲得を目指す。

Authentic 本物

文化、スポーツ、芸術、自然に触れる機会を通じて、豊かな感性を育む。

関学4つの柱

Bible

聖書・礼拝

人を愛し、愛されるリーダーへ。

こころの時間

毎朝の礼拝を通じて、一人ひとりが愛されている存在であることに気づきます

人への思いやりや尊敬の気持ち、優しさ、友情、愛情といった「見えないもの」に心を傾ける時間を、初等部ではもっとも大切にしています。讃美歌を歌い、聖書の言葉に耳を傾け、祈りをささげる。礼拝で語られる言葉や問いかけにより、誰かのために自分を磨き続ける“Mastery for Service”の精神を学び、「生きること」に静かに向き合います。



みんなで心を合わせて、讃美歌を歌い、聖書を読むこころの時間は、ぼくにとって大切な時間です。登校が再開されて、チャペルで讃美歌を久しぶりに歌った時には、涙が出るほど感動しました。早く全員でお祈りできる日が来ますように。
3年 西浦 潤人さん

聖書の時間



聖書の物語や言葉から、本当に必要な心を育みます

聖書を通して一人ひとりの存在価値や他者の気持ちに寄り添い、共に生きていく心を育みます。人生のさまざまな場面で必ず勇気や希望を与えてくれる聖書の言葉を、子どもたちに語り続けます。

リトリート キャンプ



自然の中で聖書を聴き、他者を深く思いやるひととき

4年生が2年生をリードしながら寝食を共にします。自然の中で聖書の言葉を聴くことで、自分や友達の大切さなどを考え直す貴重な機会となっています。

奉仕活動



奉仕する活動が「感謝」の気持ちを育てます

通学路を美しくする活動を大事にしています。地域の方々やスカイレンジャーズさんたちに毎日見守られ安全に登下校できることにも感謝の気持ちが芽生えます。

世界市民の一步をふみだす。



CCT

修学旅行はカナダへ 学んだ英語力を発揮する場に

6年生は「カナダ・コミュニケーション・ツアー(CCT)」で、第4代院長C.J.L. ベーツの出身地であるカナダを訪問します。姉妹校 Hollyburn Elementary School の児童や現地の方々と交流し、少人数でのホームステイ生活を体験することを通して、今まで培った英語力を本場の英語圏で発揮します。文化や環境が異なる中で相手の思いを理解し、英語で自分の思いを伝えることの難しさや大切さを学びます。

2020年度は新型コロナウイルスの影響により変更となりました。(写真は2019年度のものです。)



とてもフレンドリーなCAさんと最初の宿泊先の大学構内を歩きました。英語ミッションにチャレンジしたり、カナダの動物について教えてもらったり、楽しい時間を過ごしました。



CA (カルチュラル・アンバサダー)さんとバンクーバーにあるスチーム・クロックを探しに行きました。迷ったりもしたけど、普段はできない貴重な体験でした。



カナダのステイ先では手作りのピザを用意したり、海に連れて行ったりと、私たちに気にかけてくださいました。お土産を探すために店を何軒も回ってくださるなど、とても親切なご夫婦でした。



アフリカにルーツをもつ子と友達になりました。漢字やひらがなのことなどをジェスチャーを交えて話しました。言葉だけでなく、伝えようという気持ちが大切なんだと実感しました。



ホストファミリーのお家はとても広くて、たくさんの動物がいました。同い年の女の子やその弟と、池のある庭で遊びました。たった3日間のステイなのに、別れるときはとても寂しく感じました。



国際的な感性を伸ばし、 世界市民としての土台を築きます

これからますます、ことばや文化が異なる人々と交流する機会が増えていきます。英語の時間では、英語で積極的にコミュニケーションをとろうとする態度、国際感覚、豊かな感性を伸ばし、世界市民としての基礎を養います。1年生からネイティブ英語の音声やリズムに慣れ親しみ、基本的なスキルの向上をはかります。

毎日、英語と触れる



毎日英語の授業を行い、 英語に慣れ親しみます

全学年、英語の授業を毎日行います。1・2年生は20分授業を毎日実施。3年生以上は45分授業を3回と20分授業を2回実施し、英語に慣れ親しむ機会を多く設けます。

TT (team teaching)



本物を聴く、効果的に 英語を身につける

ネイティブ教員による生の英語音声や表現に慣れ親しみ、実際に自分の思いを伝える大切さや楽しさを学びます。同時に日本人英語教員によるポイント解説や少人数指導を組み合わせ、効果的な学習を進めます。

関西学院大学留学生と交流



日頃の学びを活用し、外国人との コミュニケーションを体験します

4・5年生は関西学院大学に在籍する留学生との交流を行います。様々な国籍の方々や英語で交流し、けん玉・こまなどの日本文化を楽しんだり、ランチを食べたりして、日頃の学びを活用しながら楽しいひとときを過ごします。

ICT機器の活用



ICT機器を活用し、 個々に応じた学びを保証します

初等部では全ての学年で、タブレットやパソコンを用いた学習ができる環境が整えられています。タブレットには英語学習ソフトがインストールされ(5・6年生)、英検の学習や家庭での復習にも役立ちます。

英語検定



英語力の向上を目指し、 実用英語技能検定(英検)に挑戦

5・6年生は全員、1~4年生は希望すれば英検にチャレンジできます。本校が準会場となり、毎年10月に実施しています。卒業時点で6年生の半数以上が英検3級・準2級・2級に合格しており、文科省の合格目標(中学3年で英検3級以上合格50%以上)を大きく上回っています。

英語の時間では、動画を見て新しい単語を覚えたり、友達同士で会話をしたりして英語を学びます。外国人の先生と毎日交流することで、英語の発音や独特な言い方を実際に聞くことができ、本物の英語を学ぶことができます。
4年 白羽 優奈さん



Universal

全員参加・理解

全員で「わかる」 全員で「助け合う」授業



かかわり合いの質を高める

他者とのかかわりの中で、よりよい私・よりよい私たちの創造に向かおうとする粘り強い子どもの姿を目指します。そのために、まず教室が安心感に満ちている必要があります。間違いが許される空間、むしろ間違いが新たな学びを生むきっかけになる空間が保障され、アウトプットの機会が十分に保障される教室づくりを目指しています。

初等部の授業では、一人一人の意見や考えを大切に、友達の意見や考えから多くのことを学ぶことができます。そうすることで自分の考えにはない新たな発見が生まれ、学びが深まります。初等部では、いつも楽しく充実した授業を受けることができます。

6年 濱井 千歳さん



書くことで学習を振り返り、 学びを豊かに表現します

学習の節目において学んだことを振り返り、それを文章で表現します。時には文章だけでなくイラストや図解を取り入れ、学習の内容をわかりやすく、様々な方法で表現する力を養います。



相手意識を伴った説明活動が、 思考を整理します

授業では教室の前に立ち、友達に対して自分の考えを説明する活動が頻繁に行われます。それによって「物事を論理的に思考し、それを整理する力」を身につけます。

Authentic

本物

本物を知る。 今しか会えない自分を知る。



平和を学ぶ旅

平和の尊さを学び 心のつながりを実感する3日間

5年生は被爆地広島へ平和を学ぶ旅に出かけます。平和記念公園の様々な施設や記念物を見学したり講話を聞いたりして、『戦争』を自分の体で感じ取り、平和の尊さを知り、守り続けていこうとする気持ちを育てます。また広島県江田島市の皆様のご協力のもと、民泊体験をさせていただき、その中で温かい心のつながりを実感します。

音楽祭



全児童が心をひとつにする 感動の舞台をつくりあげます

合唱や器楽合奏など、各学年が練習の成果を発表する舞台。最後を飾る6年生の合唱は圧巻で、下級生は拍手を送り、全児童の心がひとつになり会場が感動に包まれます。

田植え
体験



体験から得られる学びを 大切にしています

社会科学習の一環で、田植え体験実習を行います。毎年、昨年度の5年生が稲から育てた苗を植えます。同窓会の皆様と共に、伝統を受けつぐ喜びも感じることができます。

KGSO



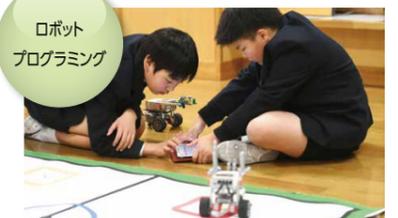
関西学院全体で初等部をサポート

関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を、3年生から実施しています。プロさながらのプレー観戦や交流を通じて、スポーツの楽しさや物事の本質にふれることを目的としています。大学のお兄さんやお姉さんたちと「本物」のスポーツ体験ができます。

KGSO (Kwansei Gakuin Sports Omnibus)
チアリーダー・ラグビー・サッカー・
陸上ホッケー・ラクロス・野球・ハンド
ボール・水泳・バスケットボールなど
十数団体が協力



ロボット
プログラミング



プログラムを組んで ロボットを動かす体験

ロボットクラブでは外部講師からプログラミングを学びます。有志は大会にも出場します。また5年生では社会科と関連し、自動車の安全技術をプログラミングから学びます。

自然体験
キャンプ



自分のことは自分でできる。 自然の中で、自立心を育みます

3年生は自然体験キャンプで関西学院千川キャンプへ行き、自然体感プログラムやザリガニ釣り、キャンプファイヤーなど、さまざまなプログラムに友達と協力しながらチャレンジします。自然の中で自分の役割を意識し、失敗や達成感を味わうことで、成長した新しい自分に出会うことができます。

宝塚歌劇
鑑賞



地元宝塚の 「本物」を体感します

6年生は卒業記念として、宝塚大劇場で歌劇を鑑賞します。子どもたちの登下校路にある宝塚大劇場において、タカラジェンヌの歌や芝居、ダンスを鑑賞し、磨き上げられたプロの技の素晴らしさを実感します。

ぼくは、KGSOでラグビーを教えてもらいました。大学生のお兄さんに体をもち上げてもらってボールをキャッチし、タックルの仕方を教えてもらいました。ラグビーの楽しさを感じたことで、ラグビーに興味を持つことができました。

4年 加藤 央丞さん



iPadを使った授業が始まり、社会の授業で初めてプレゼンテーションをしました。友達の発表を聞くと、自分とはちがう考えを知ることができて、たくさんの「なるほど!」「わかった!」を発見することができました。

5年 李相那さん



5教科

興味を深め、各教科で理解を深化させる

初等部の授業では教科を問わず、「なぜそうなるのか」「それぞれの知識や事象がどうつながっているのか」を考えることを大事にします。そうすることで、各教科で身につけた知識が互いに結び合わされ、学んだことを活用していく力が育まれます。より深い理解と学びにつながる授業を目指しています。

〈5科目について〉

算数

算数・数学の良さや楽しさを感じさせながら、「数量や図形についての概念や性質」を考察する力を身につけ、学力の確かな定着をはかります。

理科

実験や観察、体験などから考えを深め合うことで、科学的な思考力・判断力を培い、身の周りの出来事や自然への関心や問題意識を高めます。

国語

低学年では表現を通じて理解すること。高学年では理解したことを表現する活動を通じて、さらに学びや理解を深めることを大切にします。

英語

将来に役立つ英語力の基礎と、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を養います。学年に応じて段階的に語彙・4技能を習得していきます。

社会

未来に向けてグローバルな視点で考えられる力を養い、主体的に社会と関わり、自分や周りのために豊かな判断ができる子の育成を目指します。

教科担任制



より広く、より深い学びをサポートします

初等部では5・6年では全教科、低学年においても、音楽、図工、聖書、体育など、教科担任制で授業を行っています。そうすることによって、教科学習をより深く、専門的に学ぶことができます。また、中学部進学に向けての発展的な学習にもつなげます。

時間割

各教科等の週あたり授業時数

2021年度/
前期A週：月曜日から土曜日まで授業実施の場合

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	10	10	8	8	6	6
社会	・	・	2	3	3	3
算数	5.5	7.5	6	6	6	6
理科	・	・	3	3	3	3
生活	3	3	・	・	・	・
音楽	2	2	2	2	2	2
図工	2	2	2	2	2	2
家庭	・	・	・	・	2	2
体育	3	3	3	3	3	3
聖書	1	1	1	1	1	1
英語	20分×5	20分×5	4	4	4	4
学活	1	1	1	1	1	1
総合	・	・	1	1	1	1
クラブ・委員会	・	・	・	1/2	1	1
こころの時間	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5

時程表

始業	8:25	
朝の会	8:25～ 8:35	
【こころの時間】	8:40～ 8:55	
1限	9:00～ 9:45	
2限	9:55～10:40	
	通常授業時程	7時間授業時程
フリータイム	10:40～10:55	10:40～10:50
3限	10:55～11:40	10:50～11:35
4限	11:50～12:35	11:45～12:30
昼礼・ランチタイム	12:35～13:00	12:30～13:10
フリータイム	13:00～13:20	
クリーンタイム	13:20～13:35	
5限	13:40～14:25	13:10～13:55
6限	14:35～15:20	14:05～14:50
7限		15:00～15:45
終礼		
5限までの時	14:25～14:35	13:55～14:05
6限までの時	15:20～15:30	14:50～15:00
7限までの時		15:45～15:55
最終下校		
3～10月	16:30	
11～2月	16:15	

※新型コロナウイルス感染症防止のため、2021年度当初は時程変更があります。

一人ひとりの夢の種を、見つける関学の学び。

ICT教育



ICT機器を効果的に使った授業を展開

各教室にはプロジェクター、PC、書画カメラ、AppleTVを導入しています。主要教科においてデジタル教科書を導入し、日々の学習に効果的に活用しています。また200台の共用iPadの他に、児童一人一人にも個人用iPadを導入。教師と児童、あるいは児童同士が双方向で自らの意見を交流し合うツールとして活用しています。



実力テスト



学力をさらに伸ばすために

全国レベルでの自分の学力を知るために、年1回3学期に外部テストにチャレンジします。各学期の期末テストと合わせて学力を総合的にとらえ、今後の学習の方向付けを行います。

自分の考えをしっかりと伝えて、相手の心を理解する

初等部の授業では、全員で一つひとつ課題を解決しながら、学習を進めます。子ども達が意欲的に関わり合ったときに、学びの深まりを実感することができます。そのような授業が行えるよう、我々教員は日々研鑽に努めています。

松本 麻矢教諭



教員研修



「本質」にこだわります

初等部では教員研修に力を入れています。こだわっているのは子どもたち同士のかかわり合いの質。そのための授業デザインはどうあるべきなのか。各教員が互いに授業を公開し、話し合い、工夫し、子ども自身が教科の本質を発見できるよう努めています。



子どもたちのシグナルにすばやく対応します



子どもたちの心配事や悩みを寄り添い解決するために、専門のスクールカウンセラーが常駐。保護者の方々のご相談にも迅速かつ丁寧に対応しています。

※児童と保護者を対象にした完全予約制で、プライバシーにも配慮しています。

カウンセリング



関西学院 CRESCENT SCHOOL

放課後も安心・安全な学びを提供する
アフタースクール実施中!

詳しくはP.17をご覧ください



登校

通学路では警備員、PTA、スカイレンジャーズに見守られながら、社会の一員としてルールとマナーを身につけます。



8:00



こころの時間

一日のはじまりは朝の礼拝から。「ベーツチャペル」に集い、聖書の言葉に耳を傾けます。



8:40



午前の授業

学びが楽しくなるさまざまな授業を受けます。午前中は45分間の授業が1～4限まであります。



9:00



ランチタイム

ランチの場所は教室だけではなく、芝生やダイニングルームでみんなと一緒に食べます。



12:35



フリータイム

広々とした校庭や芝生で、みんな元気に遊びます。児童たちが遊びを創造する大切な時間です。



13:00



クリーンタイム

後片付けの習慣を身につけると同時に、役割を分担してものごとを進める大切さを学びます。



13:20



午後の授業

午後は学年ごとに異なりますが、5・6限の授業を実施。終礼まで元気な声が響きます。



13:40



放課後

先生や友達と遊んだり、勉強したり、クラブ活動に参加したり。思い思いの時間を過ごします。



15:20



下校

正門前から続く緑のアーチをくぐり、警備員や先生に見守られながら仲良く下校します。



16:15



アフタースクール

多彩な習いごとができる放課後学習支援も充実しています。



詳しくはP.17をご覧ください



日々の 関西学院

1日1日が美りある日々に。
一つ一つが大切な時間です。
初等部の子どもたちの
「いま」です。



※…保護者対象です。



入学式

4月

入学式
1学期始業礼拝
新入生を迎える会
地区集会
なかよし集会
健康診断
身体計測
イースター礼拝
交通安全教室
授業参観・
学級懇談会*
PTA 総会*



春の遠足

5月

春の遠足
3年自然体験キャンプ
避難訓練(火災)
カナダ・コミュニケーション・ツアー(CCT)
個人懇談会*



田植体験実習

6月

5年平和を学ぶ旅
田植体験実習
春季宗教週間
ペンテコステ礼拝
花の日礼拝
聖書講座・授業参観*
西宮車庫見学



水泳教室

7月

水泳教室
学期末テスト
2・4年リトリートキャンプ
1学期終業礼拝
家庭訪問
個人懇談会*
教育講座*



8月

家庭訪問



授業参観

9月

2学期始業礼拝
創立記念礼拝
身体計測
授業参観・学級懇談会*



体育祭

10月

体育祭
命を守る学習(防犯)
秋の遠足
聖書講座*
秋季宗教週間



音楽祭

11月

音楽祭
収穫感謝礼拝
教育講座*



クリスマス礼拝

12月

学期末テスト
クリスマス礼拝
2学期終業礼拝
個人懇談会*



作品展

1月

3学期始業礼拝
身体計測
避難訓練(地震)
授業参観*
教育講座*
作品展



マラソン大会

2月

マラソン大会
作品展
聖書講座*
文化芸術教室



卒業式

3月

学年末テスト
卒業生を送る会
卒業式
修了礼拝
授業参観・学級懇談会*

関西学院の施設

充実の施設が豊かな学びをサポート



ベーツチャペル 毎日の礼拝を行う豊かな雰囲気にも包まれたチャペルです。



体育館（空調完備）
全学年が収容可能な体育館。夏季の熱中症対策として、2019年度より空調が備わり、快適な授業環境を提供しています。



ダイニングルーム
月に一度、児童たちが互いに誕生日を祝うための、学年別カレー会食もここで行われます。



カウンセリングルーム
専門のカウンセラーが、問題をすばやくキャッチし、教師と共に迅速に問題解決に努めます。



メディアセンター
3万冊以上の蔵書を誇るオープンスペース。洋書を片手にネイティブ教員と話す光景も見られます。



音楽室
ピアノはもちろん、トーンチャイムや民族楽器までさまざまな楽器を備えています。



図工室
陶芸専用の電気窯も備えるなど、幅広い活動が可能です。



運動場
全面に人工芝を敷設したグラウンド。休み時間には笑顔と元気な声で満ちています。



教室
電子情報ボードを完備。視覚的趣向を凝らした授業を展開しています。



理科室
専科教諭の指導のもと、実験や観察など児童の科学への興味をひきだします。



関西学院大学
社会学部3回生
前田 公昭さん

私は現在、関西学院大学アメリカンフットボール部 FIGHTERS に所属しています。目標である日本一を目指し、日々仲間と切磋琢磨し、練習に励んでいます。そこで学んだことを活かし、私が社会に出た時に多くの人に貢献できるような人間になりたいと考えています。



関西学院中学部
3年 運動総部長 陸上部部長
上田 源太郎さん

運動総部長兼陸上部部長という立場で、主に運動部を管理し、各部活の予算案などの対応、学校全体の運動に携わる行事を担当しています。生徒会全体で動くことも多く、また部長として後輩の指導にも取り組んでいます。忙しいながらも充実した中学部生活です。



関西学院千里国際高等部
2年
河野 真央さん

私は、英語を活かせる職に就きたいと考えており、ネイティブの先生の授業を履修し、毎日英語に触れています。また、千里国際の部活動はシーズン制なので、ソフトボール、チア、サッカーと、多くのスポーツを経験しています。このような私の活動全てに、自ら考え、行動するという初等部の教えが活きていると感じています。

関学ファミリーのこえ Recent Report

初等部を卒業し、関西学院の様々な場所で活躍する皆さんに、近況を語っていただきました。



関西学院高等部
3年 ラグビー部主将
平生 翔大さん

私は現在、関西学院高等部に在籍し、ラグビー部主将を務めています。ラグビー部は伝統的に「7つの言葉」(挨拶・清潔感・精一杯・感謝・自主性・信頼・明るさ)を大切にしています。当たり前の事を大切に目標の日本一を達成し、大学、社会人でもラグビーを続け、関西学院に恩返しできるように頑張ります！



関西学院大学
教育学部3回生
平見 佳久さん

昨年の秋、母校である初等部で教育実習を体験しました。初等部児童の他者への思いやりのある声かけや、目に見えない気遣いが随所に見られました。また ICT 機器や様々な分野に特化された先生方など、人と環境に恵まれた学校だとあらためて感じました。私自身も児童の心に耳を傾け、「学校が楽しい」と感じられるような授業、学級づくりができる教師を目指したいです。



関西学院大学
教育学部3回生
國米 百香さん

昨年の初等部での教育実習では、1年生の何事にも一生懸命に取り組む姿が印象的でした。土曜日に、「明日学校がないの嫌だな、日曜日なかつたらいいの。」という声を聞き、私の在校時と変わらず充実した学校生活があるのだと感じました。コミュニケーションを大切にし、児童が「明日も学校に来たい!」と思えるような、児童の声をよく聞ける教師になりたいです。

Q&A

気になる関西学院のこと、お答えします

Q.1 制服ですか？私服ですか？

A. 本学指定の制服を着用いただけます。濃紺と白を基調とした制服。品位と機能性を追求したデザインです。

合服 夏服 冬服



Q.2 全校の児童数を教えてください

A. □児童数 542人 (男250人 女292人)
1学年/3クラス 1クラス/30人
□教員数 32人 (他、講師14人)
(2021.3.1 現在)

Q.3 昼食の制度を教えてください

A. お弁当を家庭より持参していただき、食育について家庭と学校とで学んでいきたいと考えています。
(ただし、外部業者へのサンドイッチ・弁当注文制度があります)

Q.4 学費、諸経費はどのようになっていますか？

学費	授業料	800,000円	1,000,000円
	教育充実費	200,000円	
	教材・学年宿泊行事等前納金	52,000円	
その他の諸費	図書購入費	1,000円	141,000円
	ICT関連費	10,000円	
	PTA会費	15,000円	
	修学旅行費積立金	60,000円	
	後援会費	3,000円	
合計		1,141,000円	(2021年度)

Q.5 安全面の取り組みについて教えてください

A. 登下校時は通学路の最寄り駅までの所要に警備員を配置し、安全確保に努めています。耐震性に優れた校舎では、防犯カメラの設置、外からの侵入を防ぐセンサー、常駐する複数の警備員が子どもたちの安全な学校生活を守ります。



ミマモルメ
全児童が携帯するICタグにより、正門を通過すると登下校の情報が学校・保護者に配信されます。緊急連絡時にも活用し、確実な情報伝達に努めています。



スカイレンジャーズ
関学OBによるボランティアグループ。毎日最寄駅からの通学路のいくつかのポイントで立哨。通学の安全を見守ると同時に、交通量の多いエリアでの通学マナーも教えています。



避難訓練
緊急地震速報を用いて地震、水害、火災など様々な状況を想定した避難訓練を毎学期実施し、万一のときに対応できるよう努めています。

Q.6 共働きですが学童保育はありますか？

A. 2019年4月、関西学院大学西宮北口キャンパス「NISHIKITA CROSS」において、安心・安全の「関西学院 CRESCENT SCHOOL」を開校しました。長期のお休み時や一時のお預かりにも対応、最長21時まで延長お預かりすることができます。



毎日、英語だから自然に英語耳が身につく
当スクールでは外国人の先生の英語にふれる時間を設けています。先生とゲームや読書をする中で日常的に英語に触れ、英語に慣れ親しみ、幼少期だからこそ可能な英語耳を養うことを目的としています。

充実の習いごと夢中になれることと出会える
子どもたちが大好きなこと、トライしてみたいことを1カ所、思う存分に集中できます。指導する講師陣は、各分野のプロフェッショナル。子どもたちが本気になる本物の学びがあります。



お問い合わせ先 TEL:0798-81-3378

COVID-19

初等部の新型コロナウイルス感染対策

関西学院初等部では、関西学院が作成した感染防止ガイドラインに基づき、2020年6月1日より児童の登校を再開いたしました。再開に際しては、様々な点で感染防止対策を徹底、それを継続することで、安心して登校できる学習環境を整えています。



ソーシャルディスタンスを確保した教室

初等部の教室は、通常の教室の約2倍の広さがあります。教室の窓から中庭に向けて風が抜けていく優れた設計思想と換気扇の強さも相まって、優れた換気能力を備えています。



教室の広さに余裕があるので、机を大きく離してソーシャルディスタンスを確保することができます。児童机は市松模様に配置し、左右だけでなく前後の距離も確保します。



こころの時間はチャペルと教室に分かれて実施

チャペルでは、各クラスが交代で入室し、こころの時間を実施しています(他のクラスは映像配信で礼拝を守ります)。場所は異なりますが、心をつなげて讃美歌を歌い、聖書の言葉に耳を傾ける時間は、守られ続けています。



手洗いは自動感知式の水道で

各教室前には自動感知式の水道が設置されており、手を触れることなく手洗いができます。水温も調節可能で、感染防止に役立っています。



メディアセンターの感染防止対策

メディアセンターでは、色違いのカーペットに立って距離を確保。カウンターには透明なシートを設置して、感染を防止します。



登校中の感染防止対策

登校中の感染防止対策として、自家用車の利用を許可しています。そのため車が通行できる道路が、初等部内に整備されています。児童は校舎入口前で降車することができます。(新型コロナウイルス感染防止のための暫定的な措置になります)